

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成13年3月期)

水質概要

3月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層7.9、中層7.8、下層7.7)に比べてほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、3月の水温変動は5~12で変動しており、下旬に向かうにつれ徐々に水温上昇が見られた。15psu以上の高塩分水の流入時に2~3以上の水温上昇が見られた。また、水深による顕著な差異は見られなかった。

3月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層2.8psu、中層3.2psu、下層4.3psu)に比べて、上層、中層、下層ともに若干高い値を示していたが、ほぼ平年並の変動が見られた。また、3月においては15psu以上の高塩分水の流入は11日観測された。3月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた(図2参照)。とくに、顕著な変動は3月4日、7日、20日、22日、25日および29日に見られた。気圧低下後数時間後に高塩分水の遡上が見られた。

3月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに8.8~11.1mg/lと高い溶存酸素濃度の変動が見られた。(平均値:上層10.5、中層:9.2、下層:9.9mg/l)。顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。3月5日の25psu以上の高塩分水流入時には2mg/lまで急激な低下が見られた。

表1 3月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		()	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	6.6	4.9	10
	中層	6.8	7.1	9.6
	下層	6.9	7.2	9.6
中旬	上層	7.4	4.7	11.1
	中層	7.4	6.1	9.1
	下層	7.3	5.9	11.1
下旬	上層	10.7	5.5	9.5
	中層	11.4	5.7	8.8
	下層	11.2	5.5	9.1
月間平均 (3月)	上層	7.4	4.9	10.5
	中層	8.6	6.2	9.2
	下層	8.6	6.2	9.9

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

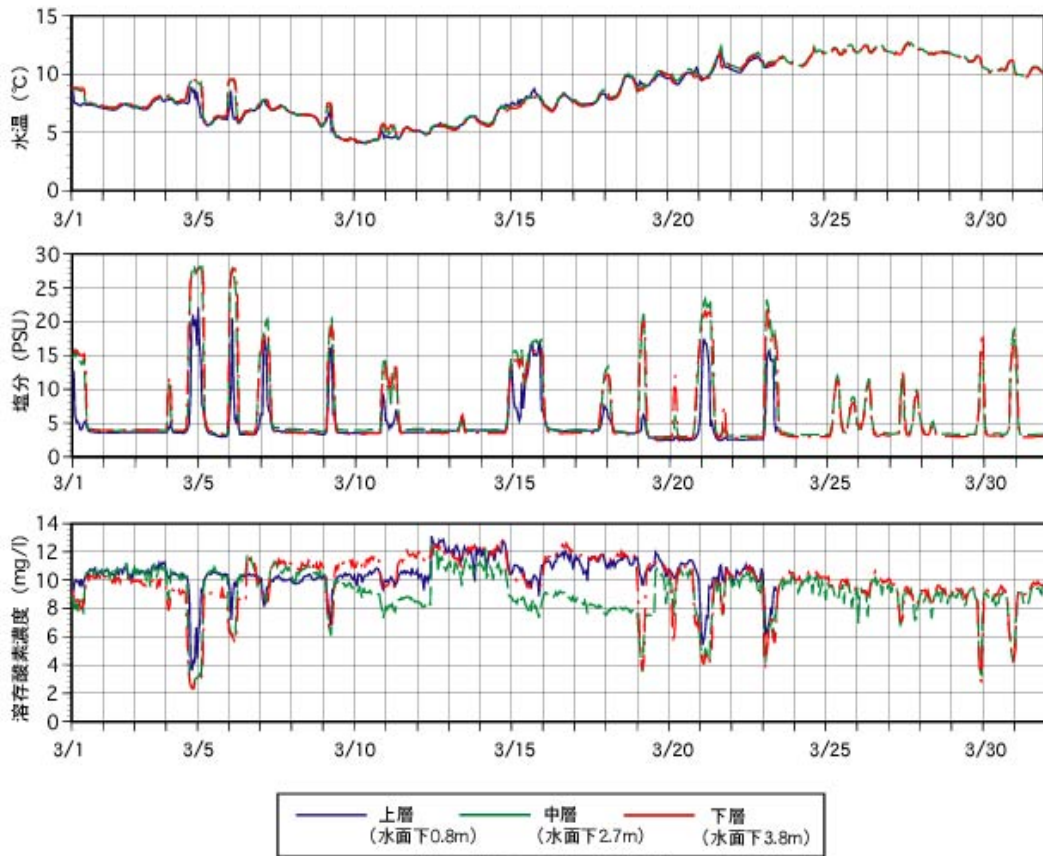


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

3月は、表2に示すとおり、平均気温7.7（平年値6.9）であり、平年並の変動であった。図2に示すように、3月の顕著な気圧変動は、3月4日、7日、20日、22日、25日および29日に急激な低下が見られたものの全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1008.1hPaは、平年値（平年値1018.2hPa）と比較して若干低かった。表2に示すとおり、3月の日射量は、0.077MJ/m²であり、2月と比較して高い値を示していた（2月平均値：0.044MJ/m²）。3月の風向・風速は、平均風速3.9m/sec（平年値3.5 m/sec, 東風）であり、平年並であった。

表 2 3月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m2)
上旬	5	1008	5.3	南西	0.049
中旬	7.7	1010.3	3.3	南南西	0.098
下旬	10	1006.1	3.3	南	0.084
月間平均	7.7	1008.1	3.9	南南西	0.077

(平年値は、平成 12 年気象の暦(山陰版)(財)日本気象協会中国センターより引用)
(表中の数字は、平均値を示す)

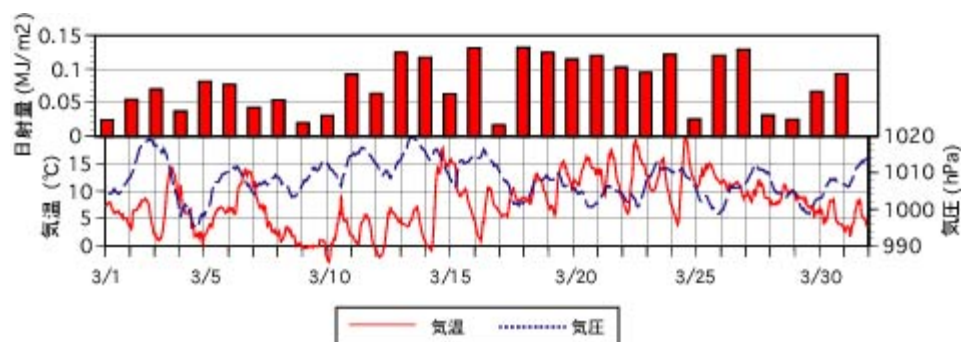


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

3月の平均流速は、上層 30.1cm/sec、中層 23.2cm/sec、下層 21.9cm/sec であった。3月の東方流速は、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

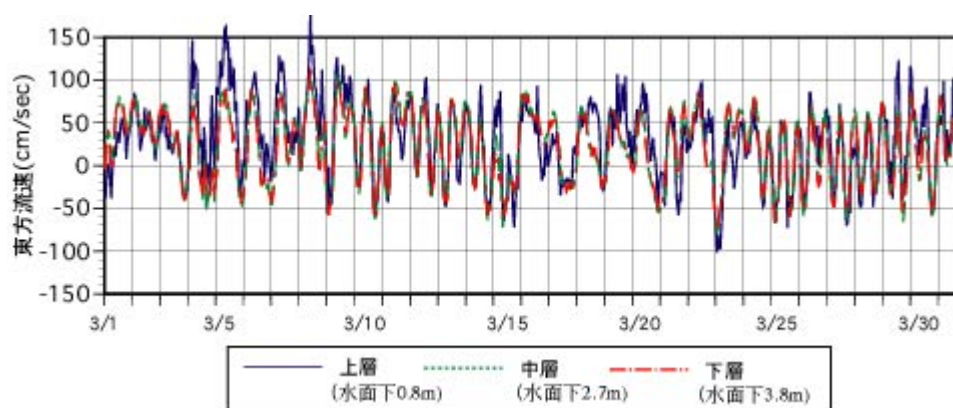


図 3 東方流速の時系列変化